

平成15年度 都市再生プロジェクト推進費(調査)

## 平成15年度 全国都市再生モデル調査

- 協働で行う都市部の海辺再生調査 -

平成16年5月

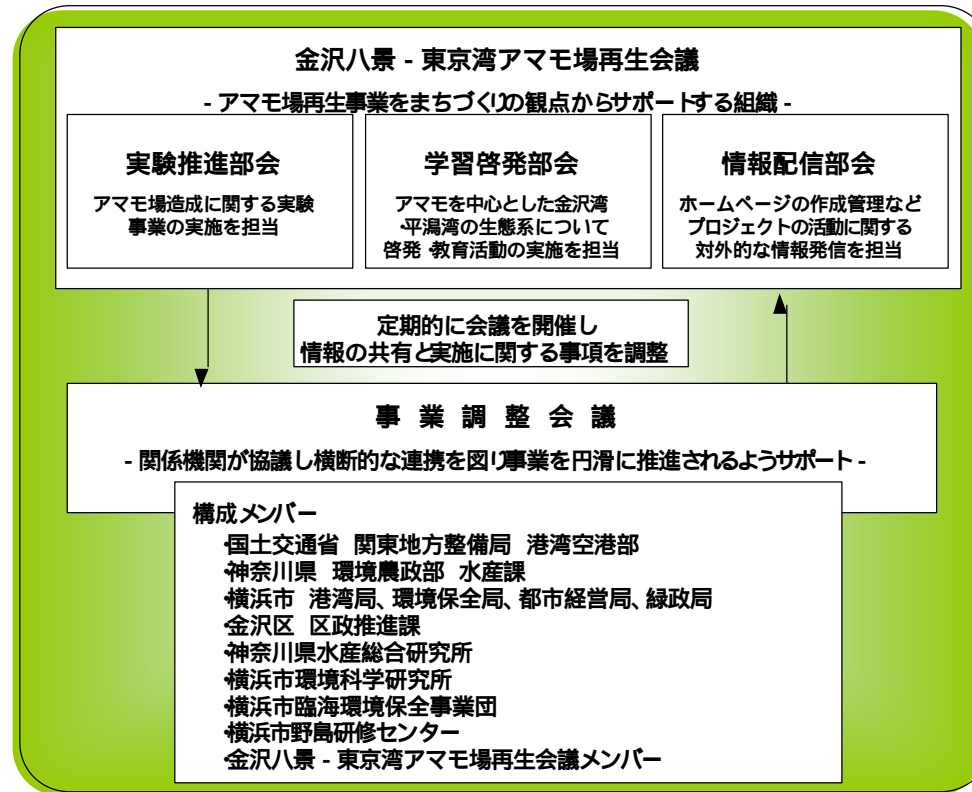
特定非営利法人 海辺づくり研究会



## 協働で行うアマモ場再生の手順

- Step .1 アマモ場再生のための協働体をつくらう
- Step .2 協働作業の実施方法をみんなで考えよう
- Step .3 アマモの生態や造成法等をみんなで学習しよう
- Step .4 健全なアマモの種子をみんなで採取・選別・保存しよう
- Step .5 専門家を中心となりアマモ場の再生適地を選定しよう
- Step .6 アマモ播種のための作業許可等を申請しよう
- Step .7 アマモの播種基盤をみんなで作成しよう
- Step .8 アマモの播種基盤をみんなで海底に設置しよう
- Step .9 発芽・生育中のアマモをみんなで守ろう
- Step .10 アマモの発芽・生育状況をモニタリングしよう
- Step .11 アマモの生長具合をみんなで見届けよう
- Step .12 協働作業で得られた成果をみんなで共有化しよう

Step .1 アマモ場再生のための協働体をつくらう



## Step . 2 協働作業の実施方法をみんなで考えよう

### 専門家等との協働による作業

アマモ場生育環境調査の実施  
関係者協働による事前調査

アマモの移植作業  
関係者による役割分担と準備

アマモの生育観察  
専門家の指導によるモニタリング

アマモの育成調査の成果の評価  
・アマモ場の造成に関し、既存資料から専門家が評価

### 海辺と市民の触れ合い増進活動

横浜の海辺の知ろう  
調査に合わせ関係者や市民が学習会

アマモの移植に参加しよう  
移植活動に市民参加を呼びかけ

アマモの生長を見届けよう。  
・モニタリングへの参加と学習会

海辺環境の再生の意義や今後のアイデア  
について話し合おう。  
防災、環境、利用（漁業・レジャー）

海辺の自然を活かしたまちづくりのための海辺環境の再生について、学び、考え、今後の方向性を共通理解するためのフォーラムを開催  
・協働者の実行委員会形式で開催

得られた成果をガイドブックとしてまとめ報告するとともに、全国に向けて発信

Step .3 アマモの生態や造成法等をみんなで学習しよう

学習風景

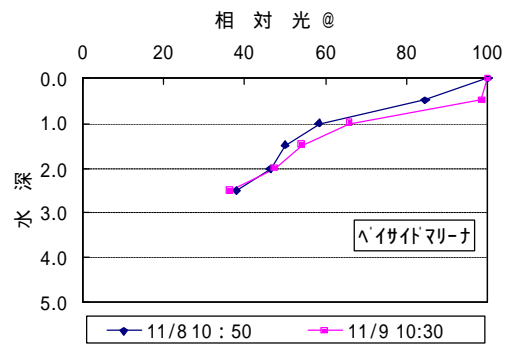
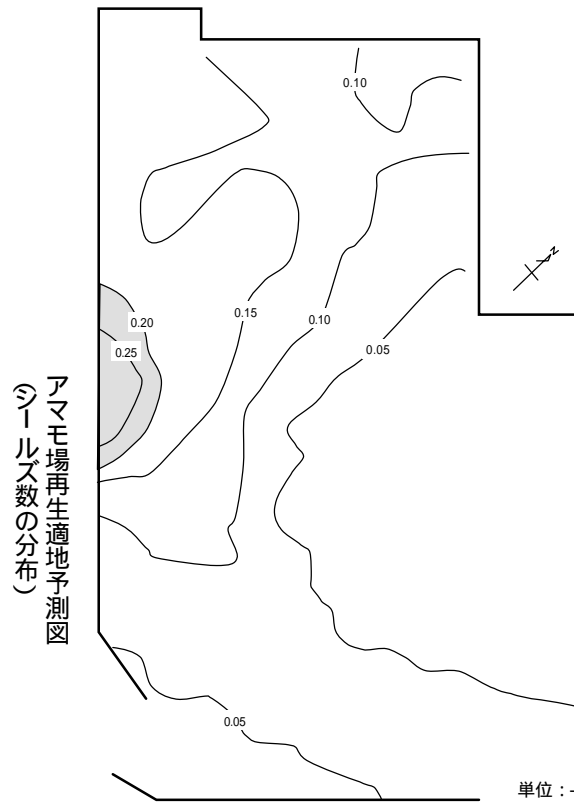


Step .4 健全なアマモの種子をみんなで採取 選別 保存しよう

アマモの種子採取 選別 保存風景



Step .5 専門家が中心となりアマモ場の再生適地を選定しよう



光量子束密度測定結果

Step .7 アマモの播種基盤をみんなで作成しよう

アマモの播種基盤(コイダルシルカ)づくり風景





Step .7 アマモの播種基盤をみんなで作成しよう

アマモの播種基盤  
播種シートづくり風景





Step .8 みんなでアマモの播種基盤を海底に設置しよう

アマモ播種基盤の設置風景



Step .9 発芽 生育中のアマモをみんなで守ろう

アマモ場再生看板設置



Step .10 アマモの発芽 生育状況をモニタリングしよう

モニタリング中の市民ダイバー



Step.11 アマモの生長具合をみんなで見届けよう

アマモ場再生報告会風景



Step .12 協働作業で得られた成果をみんなで共有化しよう

横浜市営地下鉄の車内の広告風景



Step .12 協働作業で得られた成果をみんなで共有しよう

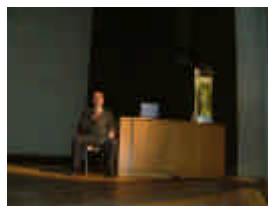
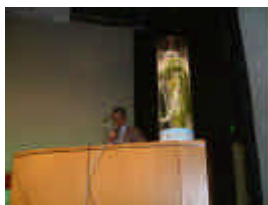
会場設営風景



フォーラム風景



フォーラム風景





## 本調査の成果

海の浄化や豊かな生態系を造りだす浅場や海辺の自然環境を核とした海辺のまちづくりのあり方について、行政、漁業者、NPO、関係企業、市民等の幅広い関係者が協働で考え、行動できた。

海辺のまちづくりというのは、海辺の自然環境と共生していく人づくり、あるいはコミュニティーづくりが基本であることを再確認した。

協働作業によって播種したアマモは、現在、発芽し、順調に生長している。現在の東京湾において、生育条件の整った場であれば、かつては存在していたが現時点では存在しない藻場等の再生が可能であることを確認した。



ガイドブックとしてとりまとめ、全国の関係者に発信し、成果の共有化した。

次のステップとしては、アマモ場再生調査で得られた成果を踏まえ、金沢区白帆地先水域（浅場）における海辺のまちづくりプランの立案したい。